取扱説明書 - 日本語

FUJITSU Software ServerView

Windows Server Integration Pack V8.0 for MS SCOM 2012

2015 年 6 月版

目次

1. はじめに

Fujitsu Technology Solutions の PRIMERGY ServerView Suite が提供するさまざまな ServerView 統合型モジュールを使用することにより、PRIMERGY サーバを他の企業管理システムへ容易に統合できます。

本書は、富士通 PRIMERGY Windows サーバの System Center 2012 Operations Manager（SCOM 2012）への統合を可能にする、ServerView Windows Server Integration Pack V8.0 について説明しています。SCOM 2012 R2 までのすべての SCOM 2012 エディションをサポートします。

この統合パッケージにより、SCOM を使って富士通 PRIMERGY Windows サーバを管理できます。富士通 PRIMERGY Windows サーバの監視は、ハードウェアコンポーネント用とソフトウェアコンポーネント用の複数のモニタを使って行われ、アイコンで表示されます。

PRIMERGY Windows サーバのハードウェアの監視中にエラーが発生した場合、管理対象サーバの Windows イベントログに ServerView エージェントがイベントエントリとして記録します。監視対象システムにある SCOM Agent が、SCOM Management Station にこれらのイベントを送信し、設定に従って管理パックがイベントを診断して SCOM Console に表示します。

また、エラーが発生した場合にどの対処方法をとるかのルールを適用できます。例えば、ハードウェアのサポート担当者にエラーの詳細を記載したメールを送信することができます。

ServerView System Monitor を起動すると詳細な分析が可能です。

最新の ServerView Windows Server Integration Pack for SCOM 2012 は、富士通 PRIMERGY ServerView Suite DVD の最新版に収録されています。

http://download.ts.fujitsu.com/prim_supportcd/SVSSoftware/

1.1 目的と対象ユーザ

このマニュアルは、ハードウェアおよびソフトウェアについて十分な知識を持っているシステム管理者、ネットワーク管理者、およびサービス専門家を対象とします。また、Microsoft System Center Operations Manager 2012 について正しい基礎知識も必要とされます。

1.2 変更履歴

ServerView Windows Server Integration Pack V8.0 には、次の新機能が搭載されています。

- 全般的に、Fujitsu 管理パックは、すべての Fujitsu 管理パックの合理的な統合に対応するように再構築されました。
  ServerView Windows Server Integration Pack については次の変更があります。
  - 以前の一体的な管理パックが個別の管理パックの管理パックスイートに分割されました。
  - デフォルトインストールフォルダは、*%ProgramFiles(x86)%\Fujitsu\ServerView Suite\SCOM Integration から %ProgramFiles%\Fujitsu\ServerView Suite\SCOM Integration\SVISCOM-Win に変更されました。*
  - インストールフォルダ内でのファイルセットアップが変更されました。3.1.1 章を参照 インストールされるファイル
  - ServerView Windows Server Integration Pack 内のクラス名とオブジェクト名を変更する必要がありました。管理パックオブジェクトのアドレスを指定しているカスタム上書き管理パックまたはスクリプトを適合させる必要があります。詳細については、第 5.5.1 章「V8.0 以前のバージョンからの移行」を参照してください。
- コンポーネントの追跡が、ServerView Windows Server Integration Pack に追加されました。詳細については、第 4.7.4 章「Delete PRIMERGY Server Component Inventory」を参照してください。
- コンポーネントの追跡をリセットするタスクが追加されました。詳細については、第 4.7.4 章「Delete PRIMERGY Server Component Inventory」を参照してください。

- Discovery Data Sources の変数「DebugString」が削除されました。デバッグが SVISCOMLog.ini を通じてのみ制御されるようになりました。詳細については、第 5.4 章「ログファイルの作成」を参照してください。
- Web ベースの ServerView System Monitor を呼び出す新しいタスクが追加されました。
- ServerView Operations Manager を呼び出しているタスクがが削除されました。

1.3 ServerView Suite リンク集

リンク集により、富士通は ServerView Suite および PRIMERGY サーバに関するさまざまなダウンロードや詳細情報を提供します。

ServerView Suite には、以下のトピックに関するリンクがあります。

- Forum
- サポートデスク
- マニュアル
- 製品情報
- セキュリティ情報
- ソフトウェアのダウンロード
- Training

i ダウンロードには以下が含まれます。

- ServerView Suite の現在のソフトウェアバージョンおよびその他の Read me ファイル。
- ServerView Update Manager により PRIMERGY サーバをアップデートする場合、および ServerView Update Manager Express により個々のサーバをローカルでアップデートする場合の、システムソフトウェアコンポーネントの情報ファイルおよびアップデートセット。
- ServerView Suite のすべてのドキュメントの最新バージョン。

富士通の Web サーバからのダウンロードはすべて無償です。

PRIMERGY Server には、以下のトピックに関するリンクがあります。

- サポートデスク
- マニュアル

- 製品情報
- スペアカタログ

ServerView リンク集へのアクセス

ServerView Suite のリンク集へアクセスする方法はいくつかあります。

1. ServerView Operations Manager から。
   - 開始ページまたはメニューバーで「ヘルプ」 – 「リンク」を選択します。
     ServerView リンク集の開始ページが開きます。
2. 富士通マニュアルサーバで ServerView Suite のオンラインドキュメントの開始ページを使用する。

   i オンラインマニュアルの開始ページには、*http://manuals.ts.fujitsu.com* からアクセスできます。

   - 左側の選択リストで *x86 servers* を選択します。
   - メニュー項目「*PRIMERGY ServerView Links*」をクリックします。
     ServerView リンク集の開始ページが開きます。
3. ServerView Suite DVD から
   - PRIMERGY ServerView Suite DVD の開始ウィンドウで、「*Select ServerView Software Products*」を選択します。
   - 「*Start*」をクリックして、ServerView Suite のソフトウェア製品が表示されるページを開きます。
   - メニューバーで「*Links*」を選択して、ServerView リンク集の開始ページを開きます。

1.4 ServerView Suite のマニュアル

マニュアルはインターネットからも無料でダウンロードできます。オンラインマニュアルは、*http://manuals.ts.fujitsu.com*の *x86 servers* のリンク先からダウンロードできます。

ServerView Suite にあるドキュメントの概要およびファイル構造については、ServerView Suite サイトマップ（「*ServerView Suite*」 - 「Site Overview」）を参照してください。

1.5　本ガイドの表記

このマニュアルでは以下の表記規則を使用します。

⚠	**警告以上** この記号は、身体の危険を表すか、データ喪失またはハードウェア破損につながりうるリスクへの注意を喚起するために使用しています。
i	**情報** この記号は重要な情報やヒントを強調しています。
▶	このマークは、作業を続けるために行う必要のある手順を示します。
斜体	説明文中の斜体は、コマンド、メニュー項目、ボタン名、オプション、ファイル名、およびパス名を示します。
<変数>	値に置き換える変数を山括弧で囲みます。

画面出力

本マニュアルに記載されている画面出力と、ご使用のシステムで表示される画面は異なることがあります。また、利用可能なメニュー項目がシステムによって異なる場合もあります。

2. 統合要件

統合するためには、以下に規定される要件を満たす必要があります。

管理ステーション

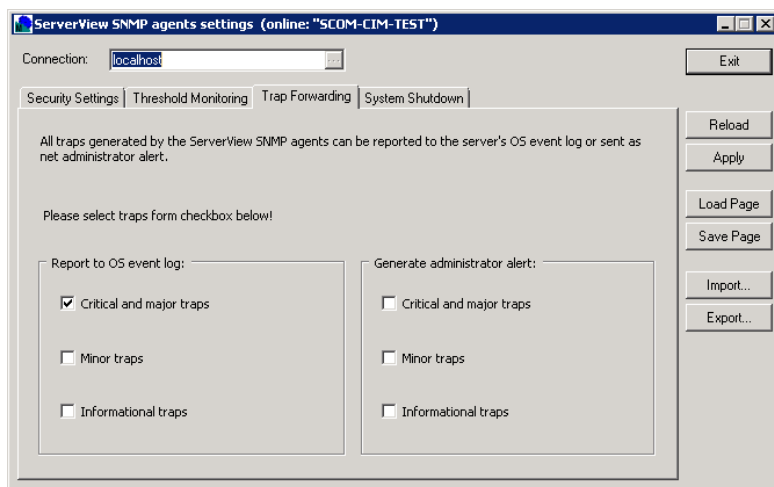
- Microsoft System Center 2012 Operations Manager
- Windows Server 2008 R2 / 2012 / 2012 R2。
  関連する SCOM バージョンの要件を参照してください。
- SQL Server 2008 / 2012 / 2014。
  関連する SCOM バージョンの要件を参照してください。

管理対象の PRIMERGY サーバ

- Windows Server 2008 [R2] または Windows Server 2012 [R2]
- Windows Management Instrumentation (WMI)
- ServerView エージェント V6.00.04 以上
  Windows Server 2012 以上の場合はエージェント V6.12.xx 以上（V6.20.xx は除外）
- RAID 監視用の ServerView RAID
- （消費電力監視のための）管理コントローラ iRMC（integrated Remote Management Controller）
- SCOM エージェントをインストールしていること

2.1 ServerView エージェントのトラップの重要度の設定

SCOM で ServerView イベントを表示するには、そのイベントが Windows イベントログに記録されている必要があります。そのため、ServerView エージェントで、必要なトラップの重要度が有効になっている必要があります。

「スタート」メニュー機能を使って、*「スタート」 – 「[すべての] プログラム」 – 「Fujitsu」 – 「ServerView Suite」 – 「Agents」 – 「Agents Configuration」*で以下のダイアログボックスを開き、「トラップ転送」タブの「*OS イベントログへ出力*」で必要なトラップ重要度を有効にします。

2.2 ServerView エージェントのアップデート

ServerView エージェントのアップデートの場合、この操作中に該当する PRIMERGY サーバをメンテナンスモードで設定します。

ServerView エージェントをメンテナンスモードでアップデートするターゲットサーバの設定に失敗すると、ServerView エージェントのインストールが不完全になることがあります。
これにより、ServerView エージェントおよび ServerView Windows Server Integration Pack の監視機能に影響を及ぼす可能性があります。

3. インストールとアンインストール

3.1 ServerView Integration Pack のインストール

インストールプログラム *SVISCOM-Win.exe* は ServerView Suite DVD の以下の場所にあります:

<DVDroot>\SVSSoftware\Software\Integration_Solutions\SCOM

または Web サイトからダウンロードできます。

http://download.ts.fujitsu.com/prim_supportcd/SVSSoftware/

インストールプログラムは、最初に基本的なチェックを実行してからインストールウィザードを開始します。インストールプロセス中は、画面に表示される指示に従います。

3.1.1 インストールされるファイル

管理サーバ上のデフォルトのインストールパスは以下の場所です。

- *%ProgramFiles%\Fujitsu\ServerView Suite\SCOM Integration*

次のファイルがインストール用のディレクトリにコピーされます。

フォルダ	ファイル
SVSICOM-Win サブフォルダ	• *EULA_en.pdf* • *EULA_jp.pdf* • *PRIMERGYServerEventsSCOM_en.pdf* • *sv-intpack-scom-win-en.pdf*

	• *windows_manual_elx.pdf*
Management Packs サブフォルダ	• *Fujitsu.ServerView.Library.mp* • *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.WindowsSeed.mp* • *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.mp* • *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.SC2MIB.Alerts.mp*（オプション） • *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RAIDMIB.Alerts.mp*（オプション）

i インストール後、以下のコマンドで SCOM コンソールを起動します: *Microsoft.EnterpriseManagement.Monitoring.Console.exe /clearcache。*

3.1.2 SCOM Consoleのみ

SCOM Console のみを搭載するサーバから ServerView System Monitor および iRMC Remote Management を呼び出すには、SCOM Console を搭載するすべてのサーバに ServerView Windows Server Integration Pack をインストールしてそこからいずれかのサイトを呼び出します。

インストール後にいったんコンソールを閉じて、コンソールが新しい環境変数を読み込むことを確認します。

3.1.3 管理パックのインポート

ServerView Windows Server Integration Pack によってインストールされた管理パックは、インストールフォルダの Management Packs フォルダ内に配置されます。このフォルダホルダーには、ServerView Windows Server Integration Pack だけで

なく、System Center Operations Manager の ServerView Integration Pack のすべての管理パックが含まれます。

管理パックを SCOM コンソールから通常の方法でインポートします。

i 管理パックをインポートするには、SCOM 管理者権限が必要です。

ServerView Windows Server Integration Pack のすべての管理パックをインポートする必要があります。詳細については、第 3.1.1 章「インストールされるファイル」を参照してください。すべての管理パックを一度にインストールできます。

3.2 新バージョンへのアップデート

アップデートインストールは、ServerView Windows Server Integration Pack ではサポートされていません。プロセスは、旧バージョンの完全アンインストールの後に新バージョンのインストールが行われます。

第 3.3 章「ServerView Integration Pack のアンインストール」に従って、以前の ServerView Windows Server Integration Pack をアンインストールします。

第 3.1 章「ServerView Integration Pack のインストール」に従って、新しい ServerView Windows Server Integration Pack をインストールします。

3.3 ServerView Integration Pack のアンインストール

ServerView Windows Server Integration Pack は以下の手順に従ってアンインストールします。

- 上書き管理パックがある場合は、対応する管理パックを SCOM から削除します。既存の上書き設定を維持するため（新しいバージョンで再利用するため）、上書き管理パックはエクスポートして保存してください。
- PRIMERGY Windows サーバの管理パックを SCOM から削除します。

  i System Center Operations Manager の他の ServerView Integration Pack がインストールされている場合は、ServerView Library Management Pack をアンインストールしないでください。

- ServerView Windows Server Integration Pack を SCOM サーバからアンインストールします。

i 管理パックを削除するには、SCOM 管理者権限が必要です。
ServerView Windows サーバの Integration Pack をすべての SCOM リモートコンソールから削除してください。

3.4 ServerView Library 管理パックのアップデート

ServerView Library 管理パックは、System Center Operations Manager のすべての Fujitsu ServerView Integration Pack で使用および参照されます。

ServerView Integration Pack で ServerView Library Management Pack の新しいバージョンをインストールする場合は、上書き管理パックを含むすべての Fujitsu 管理パックをアンインストールして、アップデートする ServerView Library 管理パックと共に、Management Packs フォルダのすべての Fujitsu 管理パックを再インストールします。

4. ServerView Windows Server Integration Pack のプロパティ

4.1　管理パック

Fujitsu ServerView Core Library 管理パックには、Fujitsu システムを SCOM で一元管理するための基本的な定義が含まれます。この管理パックは、すべての Fujitsu SCOM Integration Pack で配布されます。変更やエクスポートはできません。
このパッケージのファイル名は *Fujitsu.ServerView.Library.mp* です。

Fujitsu PRIMERGY Windows Servers Seed 管理パックには、初期の Fujitsu PRIMERGY Windows Server Discovery が含まれます。変更やエクスポートはできません。
このパッケージのファイル名は *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.WindowsSeed.mp* です。

Fujitsu PRIMERGY Windows Servers 管理パックには、Windows オペレーティングシステムを実行している Fujitsu PRIMERGY サーバの検出と監視を行うための定義が含まれます。変更やエクスポートはできません。
このパッケージのファイル名は *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.mp* です。

Fujitsu PRIMERGY Windows Servers SC2.MIB Alerts 管理パックには、ServerView ハードウェア MIB SC2.mib からエラーや警告のアラートを取得するための規則が含まれます。
この管理パックは、PRIMERGY Windows サーバの完全な監視を保証するために必要なのではなく、ハードウェアのステータスの変更を知りたいだけでなく、個々のアラートとしてすべてのハードウェアイベント受信したいお客様に提供されます。
このパッケージのファイル名は *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.SC2MIB.Alerts.mp* です。

Fujitsu PRIMERGY Windows Servers RAID.MIB Alerts 管理パックには、Server View RAID.mib からのエラーや警告のアラートを取得するための規則が含まれます。この管理パックは、PRIMERGY Windows サーバの RAID 環境の完全な監視を保証するために必要なのではなく、サーバの RAID 環境のステータスの変更を知りたいだけでなく、個々のアラートとしてすべての RAID イベントを受信したいお客様に提供されます。

このパッケージのファイル名は *Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RAIDMIB.Alerts.mp* です。

4.2 PRIMERGY サーバのコンピュータグループ

PRIMERGY サーバは、次のグループに分けられます。

- BX モデル(BX920 など)
- CX モデル(CX122 など)
- MX モデル(MX130 など)
- RX モデル(RX100、RX300 など)
- SX モデル（SX150、SX350 など）
- TX モデル(TX150、TX300 など)
- 上記のどのグループにも当てはまらない PRIMERGY モデル

i Econel モデルは、TX モデルグループ（Econel フロアスタンド）または RX モデルグループ（Econel 230R）に割り当てられます。

サーバと PRIMERGY サーバコンピュータグループの表示方法については、39 ページの「ビュー」の項を参照してください。

4.3　PRIMERGY サーバの検出と監視

PRIMERGY サーバとそのコンポーネントは、SCOM 管理（監視対象のサーバにインストールされている SCOM エージェント）に含まれている場合にのみ、検出および監視できます。

（シード）初期検出は、SystemInformation および Bios セクションのターゲットサーバのレジストリでメーカーおよびシステムタイプを確認することによって管理されます。

サーバは、WMI または ServerView CIM プロバイダが提供するデータを基にスクリプトを使って認識および監視されます。

次のメーカーおよびモデルデータを持つサーバのみが認識されます。

– メーカー： Fujitsu... または FUJITSU... または FSC

– モデル： PRIMERGY ...

シャーシ名で正確なモデルが検出されます。

4.3.1 検出された PRIMERGY サーバのプロパティの表示

管理対象サーバの次のプロパティが表示されます。

- 「*Display Name*」: サーバのホストク名
- 「*Network Name*」: サーバの 完全修飾 DNS 名
- 「*Model*」: サーバの正確なモデル名
- 「*Serial Number*」: サーバの製造番号
- 「*Operating System*」: OS の詳細なバージョン
- 「*Manufacturer*」: システムメーカー
- 「*Chassis Model*」: シャーシ名
- 「*Cabinets:*」 メインキャビネットおよび接続されているキャビネットの ID
- 「*System Firmware*」: システムファームウェアのバージョン
- 「*Physical Memory*」: 利用可能なメモリ容量
- 「*Total Logical Disk Space*」: 論理ディスクとして設定されているパーティションの合計容量
- 「*Monitoring Agents*」: ServerView エージェント名とバージョン
- 「*BMC Address*」: iRMC の IPv4 アドレス（使用可能な場合）
- 「*BMC DNS name*」: iRMC の完全修飾 DNS 名（使用可能な場合）

検出されたサーバのプロパティは、「Servers State」または「Servers Diagram」ビューの下にある「*詳細ビュー*」に表示されます。

4.3.2 PRIMERGY サーバの動作状態

PRIMERGY サーバの動作状態は、ハードウェアとソフトウェアコンポーネントの状態で決まります。最も重大なエラーが発生しているコンポーネントが、PRIMERGY サー

バの最終的な動作状態を決定します。つまり、コンポーネントの冗長性はサポートされません。

この状態は、モデルグループおよび PRIMERGY サーバグループ（ロールアップモニタ）にも伝達されます。

4.3.3 仮想マシンが PRIMERGY サーバとして認識される

仮想マシンは、Fujitsu 管理パックでのモニタリングで使用するようには設計されていません。

仮想マシンが PRIMERGY サーバとして検出され、監視アクティビティの対象となった場合（物理的な PRIMERGY サーバが仮想マシンに変換されたためなど）、PRIMERGY サーバの検出に使用される値がまだレジストリに保存されているためです。

仮想マシンを SCOM 監視から除外するには、仮想マシンをメンテナンスモードにして、レジストリの以下のエントリと内容全体を削除します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Fujitsu\ServerView Suite\SCOM Integration\SVISCOM-Win\PYServerData
または
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Fujitsu\ServerView Suite\SCOM Integration\PYServerData

4.4 サーバコンポーネントの検出と監視

サーバコンポーネントは、スクリプトを使用して、ServerView エージェントの CIM プロバイダ（WMI）、ServerView RAID エージェント、および場合によってはその他の ServerView エージェント API から取得されたデータを基に検出および監視されます。

存在するコンポーネントのみが「Diagram」ビューに表示されます。たとえば、ファンを検出できない場合（ファンがシャーシで管理されるブレードサーバなどで）、コンポーネントは表示されません。検出時に使用できる状態ではないコンポーネントを含むサブシステムも、表示されません。すべてのコンポーネントが Health Explorer に表示されますが、監視されるのは存在するコンポーネントのみです。

同一コンポーネント内の同じタイプのインスタンスはグループにまとめられ、一緒に監視されます（例えば、1 台のサーバにあるすべての CPU はプロセッサグループに割り当てられます）。エラーが発生した場合、障害のあるインスタンスがヘルスエクスプローラに表示されます。最も重大なエラーが発生したインスタンスが、そのグループの全体的な状態を決定します。

デフォルトで、重要度が「*重大*」のイベントはアラートを生成します。重要度が「*危険*」のイベントはアラートを生成しません。このデフォルト設定は上書きできます。

4.4.1 ハードウェアサブシステムの検出（コンポーネント）

次に記載されている PRIMERGY サーバのハードウェアサブシステムの検出と監視が可能です。

4.4.1.1 PRIMERGY Overall State

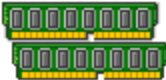
このコンポーネントを使って、 PRIMERGY サーバの全体的な状態の表示と監視を行います。以下で説明するハードウェアコンポーネントにないコンポーネントも、ここで監視されます。ServerView System Monitor タスクを使用して詳細を確認します。

アイコン	情報	
	Display Name: *Server Name:* *Devices:* *Device Information:*	PRIMERGY Overall State *<サーバ名>* *<監視対象コンポーネント>* None

	BMC Address: *BMC DNS name:*	*<BMC の IPv4 アドレス>* *<iRMC の FQDN>*

PRIMERGY 全体のな通信

PRIMERGY Overall State も、SCOM および ServerView エージェントサービスによって実行されるスクリプト間の通信を監視する通信モニタで構成されます。

ここでの問題は、ハードウェアの監視が正常に機能しないことを示します。「ServerView Server Control」サービスを再起動し、ServerView System Monitor タスクを使用して詳細を確認します。

4.4.1.2 プロセッサ

接続されているプロセッサが検出されると、モニタに CPU のデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name: *Server Name:* *Devices:* *Device Information:* *BMC Address:* *BMC DNS name:*	Processors *<サーバ名* *<物理 CPU の名前>* *<CPU タイプ/ コア数>* *<BMCP の IPv4 アドレス>* *<iRMC の FQDN>*

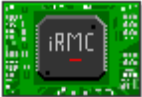
4.4.1.3 Memory

接続されているメモリモジュールが検出されると、モニタにメモリモジュールのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Memory
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	<メモリ合計>
	Device Information:	<メモリのタイプ>: <タイプのメモリの数>
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.1.4 Storage

使用可能なボリュームが検出されると、モニタにハードディスクのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Storage
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*<ストレージデバイス>*
	Device Information:	*<ストレージデバイスの容量>*
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.1.5 Networks (Ethernet)

使用可能なネットワークアダプタが検出されると、モニタにネットワークアダプタのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Networks (Ethernet)
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*<ネットワークアダプタ/インターフェースの名前>*
	Device Information:	*<MAC アドレス>*
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.1.6 Management Controller

iRMC （integrated Remote Management Controller）が検出されると、モニタに iRMC 管理コントローラのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Management Controller
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*<タイプ>*
	Device Information:	Firmware Version: *<バージョン>*
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<RMC の FQDN>*

4.4.1.7 ファン（冷却）

PRIMERGY サーバに接続されているファンモジュールと接続されている拡張モジュールが検出され、モニタにモジュールのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Fans (Cooling)
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*Number of Fan Devices: <数値>*
	Device Information:	None
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<RMC の FQDN>*

4.4.1.8 Temperatures

物理的に存在している温度センサが検出されると、モニタに温度センサのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Temperatures
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*Number of Temperatures: <数値>*
	Device Information:	None
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<RMC の FQDN>*

4.4.1.9 Power Supplies

物理的に存在している電源モジュールが検出されると、モニタにモジュールのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Power Supplies
	Server Name:	<サーバ名>
	Devices:	<電源>
	Device Information:	None
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.1.10 Power Consumption

iRMC が消費電力監視をサポートしている場合、および iRMC *Power Control Mode* が *Power Limit* に設定されている場合は、消費電力が監視されます。iRMC Power Control Mode が他のモードに設定されている場合、消費電力監視は常に OK を表示します。

アイコン	情報	
	Display Name:	Power Consumption
	Server Name:	<サーバ名>
	Devices:	<BMC の IPv4 アドレス>
	Device Information:	<iRMC の FQDN>
	BMC Address:	Total Power
	BMC DNS name:	None

4.4.1.11 電圧

物理的に存在している電圧センサが検出されると、モニタに電圧センサのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	Voltages
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*Number of Voltages: <数値>*
	Device Information:	None
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<RMC の FQDN>*

4.4.1.12 RAID Subsystem

ServerView RAID がインストールされている場合、SV RAID およびすべての RAID アダプタが検出されると、モニタにそれらのデータと動作状態が表示されます。

アイコン	情報	
	Display Name:	RAID Subsystem
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*<タイプ>*
	Device Information:	*ServerView RAID, <RAID アダプタ>*
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<RMC の FQDN>*

4.4.1.13 RAID 論理ドライブ

RAID 論理ドライブのステータスを ServerView RAID から検出して ServerView エージェントのモニタに表示します。

アイコン	情報	
	Display Name:	RAID Logical Drives
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*on adapter <x>’<アダプタ名>: <l論理ドライブ>*
	Device Information:	*RAID Level: <数値> <RAID レベル>*
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.1.14 RAID 論理ドライブ

RAID 論理ドライブのステータスを ServerView RAID から検出して ServerView エージェントのモニタに表示します。

アイコン	情報	
	Display Name:	RAID Logical Drives
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*on adapter <x>’<アダプタ名>: <論理ドライブ>*
	Device Information:	*RAID Level: <RAID レベル>*
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.1.15 RAID 物理ディスク

RAID 物理ディスクのステータスを ServerView RAID から検出して ServerView エージェントのモニタに表示します。

アイコン	情報	
	Display Name:	RAID Physical Disks
	Server Name:	*<サーバ名>*
	Devices:	*on adapter <x>' <アダプタ名>: <物理ディスク>*
	Device Information:	*Size: <容量>*
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.2 ハードウェアサブシステムの状態の更新

PRIMERGY サーバのハードウェアコンポーネントの構成は、デフォルトで 4 時間ごとに自動的に判定されます。

しばらくの間サーバをメンテナンスモードにします。メンテナンスモードが終了すると、SCOM は自動的にハードウェアコンポーネントを再検出します。または、ハードウェアコンポーネントの検出間隔を変更して、すべての「Discovery Rule for Windows Server Health Collection」に（一時的な）上書きを実行することにより、強制的に更新します。

4.4.3 必要なサービスの検出

次に記載されている PRIMERGY サーバのサービスの検出と監視ができます。

4.4.3.1　ServerView エージェント

ServerView Server Control サービスは、PRIMERGY ハードウェアコンポーネント監視する Fujitsu の中心的なサービスです。

モニタクラス : SCCI 管理ソフトウェア

アイコン	情報	
	Display Name:	ServerView Agent
	Version:	<エージェントのバージョン>
	Server Name:	<サーバ名>
	Devices:	Service ' SrvCtrl.exe'
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.3.2　Windows Management Instrumentation (WMI)

モニタクラス : WMI 管理ソフトウェア

アイコン	情報	
	Display Name:	Windows Management Instrumentation （WMI）
	Version:	<WMI バージョン>
	Server Name:	< サーバ名>
	Devices:	None
	BMC Address:	*<BMC の IPv4 アドレス>*
	BMC DNS name:	*<iRMC の FQDN>*

4.4.3.3 ServerView RAID

ServerView RAID は、PRIMERGY サーバのすべての RAID コントローラの管理と監視を行います。

モニタクラス: ServerView RAID

アイコン	情報	
	Display Name:	ServerView RAID
	Version:	<バージョン>
	Server Name:	<サーバ名>
	Devices:	Service’ amService.exe
	BMC Address:	<BMC の IPv4 アドレス>
	BMC DNS name:	<iRMC の FQDN>

4.4.4 ハードウェアコンポーネントの監視

ハードウェアコンポーネントは、VBScript を使って監視します。監視スクリプトは、一定の間隔（コンポーネントに応じて約 120 ～ 180 秒おき、設定可能）で呼び出され、コンポーネントの状態を確認します。

すべてのハードウェアコンポーネントは「*Health Collection*」に収集され、ヘルスエクスプローラに表示されます（45 ページを参照）。

コンポーネントが「*重大*」な状態であると監視機能が報告した場合、対応するアラートが生成されます。「*警告*」アラートは、デフォルトでは無効です。

コンポーネントが「OK」の状態に戻ると、アラートは解決され、「*Active Alerts*」ビューに表示されなくなります（41 ページを参照）。

4.4.5 必要なサービスの監視

必要なサービスは、サービスごとに個々のモニタで監視されます。サービスの動作状態はヘルスエクスプローラに表示されます。

4.4.5.1 SCCI Management Software (ServerView エージェント)

このソフトウェアコンポーネントの状態は、次のサービスで決定されます。

– ServerView Server Control （サービス名： 「*SvrCtrl.exe*」）

「*重大*」な状態であると監視機能が報告した場合、対応するアラートが生成されます。

ServerView エージェントが「*重大*」な状態の場合、PRIMERGY サーバの監視はできなくなります。

コンポーネントが「OK」の状態に戻ると、アラートは解決され、「*Active Alerts*」ビューに表示されなくなります（41 ページを参照）。

4.4.5.2 Windows Management Instrumentation (WMI)

このソフトウェアコンポーネントの状態は、 Windows Management Instrumentation Service（サービス名：「*winmgmt*」）で決定されます。このサービスが起動していない場合、WMI コンポーネントの状態は「*重大*」になります。

「*重大*」な状態であると監視機能が報告した場合、対応するアラートが生成されます。

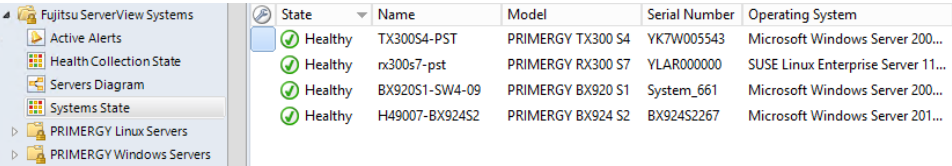
WMI サービスが「*重大*」な状態の場合、PRIMERGY サーバの監視は制限されます。

コンポーネントが「OK」の状態に戻ると、アラートは解決され、「*Active Alerts*」ビューに表示されなくなります（41 ページを参照）。

4.4.5.3 ServerView RAID Manager

このソフトウェアコンポーネントの状態は、 ServerView RAID Manager Service（サービス名：「*amService*」）で決定されます。このサービスが起動していない場合、ServerView コンポーネントの状態は「*重大*」になります。

「*重大*」な状態であると監視機能が報告した場合、対応するアラートが生成されます。

コンポーネントが「OK」の状態に戻ると、アラートは解決され、「*Active Alerts*」ビューに表示されなくなります（41 ページを参照）。

4.5 ビュー

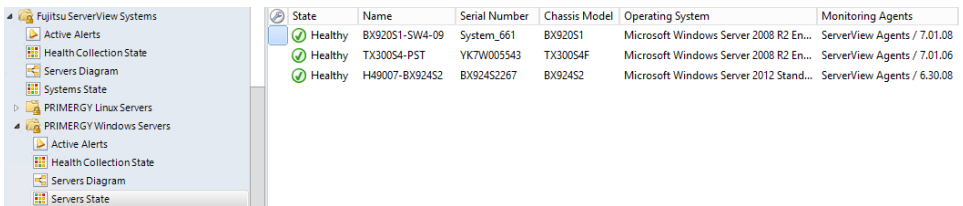
すべてのビューにおいて、動作状態は Operations Manager の通常の動作状態アイコンで表示されます。

4.5.1 *Fujitsu Systems Core Library* 管理パックで定義されるビュー

Fujitsu ServerView Core Library 管理パックを統合すると、*Fujitsu PRIMERGY Servers* ノードが、SCOM コンソールの「*監視*」ペインに作成されます。このノードには以下のビューが表示されます。

- Active Alerts
- Health Collection State
- Servers Diagram
- Systems State

これらのビューには、特定のビューが対象とするクラスに割り当てられているすべてのオブジェクトが表示されます。このクラスを構成するシステムは、*Fujitsu PRIMERGY Windows Servers* 管理パックなどの、インストールされている詳細な Fujitsu パックによって異なります。

Fujitsu ServerView Systems Core Library パックによってインストールされるビューは、*Fujitsu ServerView Systems Core Library* 管理パックに依存する管理パック

の対象であるすべてのシステムで構成され、すべての Fujitsu システムの概要を容易に表示できます。

4.5.2 *Fujitsu PRIMERGY Windows Servers* 管理パックで定義されるビュー

Fujitsu PRIMERGY Windows Servers 管理パックを統合すると、SCOM Console コンソールの「監視」ペインで、*Fujitsu Systems* ノードの下に新しいノード *PRIMERGY Windows Servers* が作成されます。このノードには以下のビューが表示されます。

– Active Alerts

– Health Collection State

– Servers Diagram

– Systems State

Fujitsu PRIMERGY Windows Servers 管理パックによってインストールされるビューは、PRIMERGY Windows サーバのみ対象として表示します。

4.5.3 「Active Alerts」ビュー

「*Active Alerts*」ビューには、特定のビューが対象とするクラスに割り当てられているすべてのアラートが表示されます。解決状態が「*Not Closed*」のアラートのみ表示されます。

アラートのトリガの原因には、以下のものがあります。

– コンポーネントモニタの状態が「*重大*」で、このコンポーネントに対応するアラートが表示される場合。

このアラートは「自己解決型」で、原因が解決されるとビューに表示されなくなります。

– 管理パックで定義されているルールのイベントが、監視対象のサーバの Windows イベントログに記録されます。これらのアラートは、明示的に閉じられるまで表示されたままになります。

デフォルトでアラートは、Windows イベントログ（アプリケーション、Operations Manager、またはシステム）に重要度「*重大*」（「エラー」）で記録されているイベントによってのみ生成されます。重要度「*警告*」のイベントも、ユーザによって有効にされている場合には表示できます。

Source	Name	Resolution Sta...	Created	Age	Repeat Co
Severity: Critical (1)					
PRIMERGY Overall State	The Overall Health State of a PRIMERGY is in failed state.	New	1/21/2015 3:06:45 PM	2 Hours, 21 M...	0

解決状態が「*closed*」のアラートは、「*Active Alerts*」ビューには表示されなくなります。

一部のアラートについては、アラーム除外が有効です。この場合、アラートが報告されるのは1 回だけです。このタイプのアラートが次に発生すると、「*Repeat Count*」が増加します。「*Repeat Count*」列を表示するには、「*personalize view*」設定を使用します。

4.5.4 「Health State Collection」ビュー

「*Health State Collection*ビューには、特定のビューが対象とするクラスのハードウェアコンポーネントの動作状態が表示されます。

State	Name	System Name	Devices	Device Information
Critical	PRIMERGY Overall State	TX300S4-PST....	0: PRIMERGY Overall State; 1: ServerView Agents Version; 2: BIOS Selftest;	None
Warning	Temperature Sensors	TX300S4-PST....	Total Number of Temperature Sensors: 20	None
Healthy	Fans (Cooling)	H49007-BX924...	Total Number of Fan Devices: 0	None
Healthy	Management Controller	H49007-BX924...	0: iRMC S2;	0: Firmware Version: 5.67G;
Healthy	Temperature Sensors	H49007-BX924...	Total Number of Temperature Sensors: 8	None

4.5.5 「Diagram」ビュー

「Diagram」ビューには、Fujitsu システムのインフラが図解で表示されます。Fujitsu システムと PRIMERGY サーバおよびモデルグループの接続状態、およびコンポーネントと PRIMERGY サーバの接続状態が表示されます。

システムがグループ内にある場合は、コンピュータ記号の横に丸で囲まれた記号が表示されます。このグループをさらに展開して、存在するシステムを表示できます。

サーバのハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントの状態も、「*Servers Diagram*」ビューに表示されます。コンポーネントは、割り当てられているサーバとともに図示されます。

正常な状態にあるコンポーネントは、関連付けられたサーバの健全なグループ内にあります。

複数のコンポーネントが「*警告*」または「重大」の状態にある場合、これらは対応するグループに収集され、同時に PRIMERGY サーバの下にも表示されます。

検出されたコンポーネントのインスタンスおよび各種のプロパティが、コンポーネントの下の「*詳細ビュー*」に表示されます。各コンポーネントに以下のプロパティが表示されます。

- *Display Name :* コンポーネント名
- *Server Name:* コンポーネントが属するシステムの名前
- *Devices:* 検出されたデバイスインスタンスの情報
- *Device Information:* デバイスの追加情報（使用可能な場合）
- 「*BMC Address*」: 統合済みのマネジメントコントローラの IPv4 アドレス
- 「*BMC DNS name*」: 完全修飾ドメイン名（使用可能な場合、および iRMC で DNS が有効な場合）

4.5.6 「Server State」ビュー

「*Server State*」ビューには、特定のビューが対象とするクラスに割り当てられているすべてのサーバの状態が表示されます。

	State	Name	Serial Number	Chassis Model	Operating System	Monitoring Agents
	Healthy	BX920S1-SW4-09	System_661	BX920S1	Microsoft Windows Server 2008 R2 En...	ServerView Agents / 7.01.08
	Healthy	TX300S4-PST	YK7W005543	TX300S4F	Microsoft Windows Server 2008 R2 En...	ServerView Agents / 7.01.06
	Healthy	H49007-BX924S2	BX924S2267	BX924S2	Microsoft Windows Server 2012 Stand...	ServerView Agents / 6.30.08

選択した PRIMERGY サーバのプロパティがこのビューの下の詳細ビューに表示されます。

4.6　ヘルスエクスプローラ

ヘルスエクスプローラは、さまざまなビューから起動できます。コンポーネントと依存関係をツリー構造で表示します。コンポーネントの状態が「*警告*」または「*重大*」の場合、対応するサブディレクトリが自動的に展開されます。

ヘルスエクスプローラの右側のウィンドウでは、「*ナレッジ*」と「*状態変更イベント*」という 2 つの画面を表示できます。モニタの表示内容と可能なアクション（解決方法）および推奨事項は、「*ナレッジ*」タブに表示されます。

左側のナビゲーションウィンドウで選択したコンポーネントの、あらゆる状態の遷移（「*OK*」 <-> 「*非冗長*」 <-> 「*エラー*）が、「*状態変更イベント*」タブに表示されます。状態変更は、状態変更に関与する最初のコンポーネントにのみ表示されます。

状態が「*OK*」ではない場合、コンポーネントは「*非冗長*」または「*エラー*」の状態になり、障害のあるインスタンスがヘルスエクスプローラに一覧されます。複数のコンポーネントの動作状態が異なる場合、最も重大なエラーがあるインスタンスによって、グループの全体的なステータスが決定されます。

<Component>_Components

　　コンポーネントのインスタンス。

<Component>_HealthState

　　Degraded

　　　　少なくとも1 つのコンポーネントのインスタンスが、「危険」の状態です。

Error

少なくとも1 つのコンポーネントのインスタンスが、「重大」の状態です。

<Component>_FailedComponent

コンポーネントの状態が「非冗長」または「エラー」の場合、障害のあるインスタンスはここに表示されます。

4.7 Fujitsu PRIMERGY Windows Server タスク

タスクとは、異なるビューで表示して実行できるアクションです。タスクは、PRIMERGY サーバが強調表示されたとき、または PRIMERGY ハードウェアコンポーネントが選択されるときに、「*Actions*」ウィンドウに表示されます。

PRIMERGY サーバおよびサーバコンポーネントのタスク

- Computer Management
- Remote Desktop
- Remote Desktop Console
- Delete PRIMERGY Server Component Inventory
- ServerView Raid Manager
- ServerView Remote Management iRMC
- ServerView System Monitor

4.7.1 Computer Management

このタスクは、コンピュータの管理（MMC アプリケーション）の起動と、反転表示された　PRIMERGY サーバのデータへのアクセス許可に使用されます。

4.7.2 Remote Desktop

このタスクは、PRIMERGY サーバにログインするためにリモートデスクトップを起動するのに使われます。

4.7.3 Remote Desktop Console

このタスクは、PRIMERGY サーバにログインするためにリモートデスクトップをコンソールモードで起動するのに使われます。

4.7.4 Delete PRIMERGY Server Component Inventory

Fujitsu PRIMERGY Windows Servers 管理パックは、サーバで検出されたコンポーネントの数とサーバのレジストリを *HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Fujitsu \ServerView Suite\SCOM Integration\SVISCOM-Win\PYServerData* にて記録します。

新しいコンポーネントがサーバに追加されると、コンポーネントインベントリが増加し、情報アラートが発生します。

コンポーネントがない場合、コンポーネント検出スクリプトを再び実行するたびに、アラートが発生します（デフォルト: 4時間ごと）

このタスクにより、サーバコンポーネントインベントリデータがリセットされます。次回のコンポーネント検出サイクルでは、アラートが発生することなく、新しいインベントリデータが生成されされます。

コンポーネントがサーバから削除された場合はこのタスクを使用します。

4.7.5 ServerView Raid Manager

このタスクは、ServerView Raid Manager の Web コンソールを呼び出すのに使われます。このタスクは、ServerView RAID Manager がサーバにインストールされていない場合でも、すべての PRIMERGY サーバに表示されます。

4.7.6 ServerView Remote Management iRMC

このタスクでは、iRMC（integrated Remote Management Controller）のコンソールを呼び出します。iRMC の DNS 名が検出されない場合、DNS 名が呼び出されます。検出された場合は、iRMC の IPv4 アドレスが使用されます。

4.7.7 ServerView System Monitor

このタスクを使用して、Web ベースの ServerView System Monitor を起動して、PRIMERGY サーバを詳細に調べることができます。

i

Web ベースの System Monitor は、ServerView エージェント V7.01 以降がインストールされている PRIMERGY サーバでのみ使用できます。

古いバージョンの ServerView エージェントを搭載した PRIMERGY の場合は、サーバにログオン（Remote Desktop タスクなどを使用）し、「スタート」－「すべてのプログラム」－「Fujitsu」－「ServerView Suite」－「Agents」－「System Monitor」でサーバ上の System Monitor に移動します。

4.8　イベントとアラート

i　この項は、ルールが管理パックで定義されるアラートにのみ適用されます。

アラートは、明示的に閉じられる（解決状態「*解決済み*」が割り当てられる）まで、「*Active Alerts*」ビューに表示されたままになります。

アラートはモニタとは独立しており、サーバの動作状態には影響しません。イベントの表示にのみ使用されます。

以下のイベントグループがメイン管理パックに統合されています。

- HD.MIB
- NTCluster.MIB
- THRESHOLD.MIB
- Duplex Data Manager（DDM.MIB）
- QLogic Fibre Channel Adapters
- Emulex Fibre Channel Adapters（BE2NET、BE2ISCSI）
- Broadcom Network Adapters
- Intel Network Adapters（E1000、E100B、IE10G、ANS Miniport）
- 管理パックの VB スクリプトのイベントログエントリ

i　すべてのアラートでアラート抑制が有効です。

サブシステム動作状態モニタがコンポーネントサブシステムの動作状態に完全に対応している場合でもアラートを受信したいお客様については、次のアラートが追加の管理パックに移行されています。

- SC2.MIB
- ServerView-Raid

統合されたイベントの概要は、Manuals サブディレクトリにある *PRIMERGYServer EventsSCOM_e.pdf* ファイルと *windows_manual_elx.pdf* に記載されています。

重要度「*警告*」または「*重大*」のイベントのみが統合されます。

4.8.1 アラートを有効／無効にする

デフォルトで、重要度が「*重大*」のイベントはすべてアラートを生成します。重要度が「*危険*」のイベントはアラートを生成しません。

デフォルト設定を変更するには、SCOM Console の「作成」セクションで上書きします。この後、書込み可能なカスタム管理パックに上書きを保存する必要があります。

4.9 ナレッジベース

ナレッジベースは、イベントとアラートに対して提供されています。アラートに応じて、エラーが表示された後の解決方法およびアクションは異なります。

解決方法は、*PRIMERGYServerEventsSCOM_e.pdf* ファイルのイベント一覧の最後の列にも記載されています。

5. 付録

5.1　サポートする PRIMERGY サーバ

ServerView Windows Server Integration Pack 自体は PRIMERGY サーバをサポートしませんが、サーバにインストールされた ServerView エージェントを使用してサーバハードウェアデータを提供します。したがって、PRIMERGY のサポートは、監視されるシステムにインストールされたエージェントに依存します。

PRIMERGY サポートの詳細については、ServerView エージェントのリリースノートを参照してください。

5.2　Operations Manager のイベントログのエントリ

エラーが発生した場合、PRIMERGY サーバおよびサーバコンポーネントの検出と監視を行う VBScripts が、Operations Manager のイベントログにメッセージを書き込みます。

これらのエントリは、「*Health Service Script*」という名前の監視対象サーバ上で検出できます。どの VBScript が生成したメッセージかは、メッセージ文に指定されています。

MP に定義されたルールで上記エントリのイベントログがチェックされます。エントリがある場合は、「*Active Alerts*」ビューに表示されます。

i　エラーのエントリがオンになり、警告のエントリがオフになります。

上書きは、上書きファイルの VB スクリプトエントリを使用できます。

5.3 Windows イベントログでのテストエントリの作成

アラートが有効か無効か、または認識されているかどうか確認するため、これらのイベントのテストエントリを、PowerShell を使用して該当するサーバのイベントログに作成できます。

5.4 ログファイルの作成

エラー解析用のログファイルを作成できます。ログファイルは、システム環境変数 TEMP に記載されているディレクトリのサブディレクトリ *SVISCOM\SVISCOM-Win* に保存されます。通常これは *C:\Windows\TEMP* ディレクトリです（この例では、*C:* はシステムパーティションを表します）。

ロギングオプションは、このフォルダの SVSISCOMLog.ini ファイルで定義されています。このファイルが存在しない場合、または、管理パックの古いバージョンで作成された場合、このファイルの *SVISCOMLog.in_* という名前のコピーが各サーバ検出で %TEMP%\SVSCOM\SVISCOM-Win フォルダに生成されます。

i ログオプションへの変更は *SVISCOMLog.in_* ファイルにのみ追加されます。それに応じて、ServerView Windows Server Integration Pack の古いバージョンの *SVISCOMLog.ini* をアップデートする必要がある場合があります。

ログファイルの作成

*SVISCOMLog.in_* には、管理パックのすべての検出および監視機能のデバッグオプションが含まれています。詳細については、ターゲットシステムの *SVISCOMLog.in_* を参照してください。

ログファイルを使用してエラー分析を行う場合は、次の手順に従います。

- ターゲットサーバの *SVISCOMLog.in_* を *SVISCOMLog.ini* に変更します。*SVISCOMLog.ini* がすでに存在する場合、*SVISCOMLog.in_* のすべてのオプションも *SVISCOMLog.ini* にあることを確認します。
- 監視する各機能のデバッグオプション（詳細は SVISCOMLog.in_ file ファイルに記載されています）を確認して、目的の値を設定します。

必要に応じて、下記のログファイルが作成されます。

– *PRIMERGYServerDiscoveryTrace_<servername>.log*

– *PRIMERGYComponentsDiscoveryTrace_<servername>.log*

– *PRIMERGYComponentsMonitorTrace_<servername>_<component>.log*

– *PRIMERGYCommunicationMonitorTrace_<servername>_<component>.log*

– *PRIMERGYServerFCEvents_<servername>.log*

より詳細な分析には、富士通サポートにファイルを送付する必要があります。

ログファイルの作成を再び無効にするには、*SVISCOMLog.ini* を削除するか、名前を変更するか、ファイル内のログオプションを変更してください。

5.4.1 最新のログファイル

初期化ファイルがすでに使用可能な場合のみ、Fujitsu 管理パックをインポートするとすぐにログファイルが生成されます。

管理パックがインポートされ、実行間隔に応じてログファイルが生成されます。

最悪の場合、すべてのログファイルが生成されるまで 24 時間が必要です。

i サーバの検出は、デフォルトでは 4 時間おきに実行されます。

コンポーネントの検出は、デフォルトで 24 時間おきに実行されます。

コンポーネントの検出が正常に終了すると、監視は 2 ～ 3 分おきに実行されます。

他の方法:

最新の検出ログファイルセットを作成するには、サーバをしばらくの間メンテナンスモードにし、SCOM のメンテナンスモードを終了します。SCOM はメンテナンスモードの終了後に、自動的にサーバとコンポーネントの検出を実行します。

5.5 Windows Server Integration Pack の以前のバージョンのアップデート

i ServerView Windows Server Integration Pack は一般に、アップデートをサポートしていません。プロセスは、アンインストールの後に新規インストールが行われます。

5.5.1 V8.0 以前のバージョンからの移行

ServerView Windows Server Integration Pack のバージョン V8.0 では、Linux などの Windows 以外の OS 用管理パックの道が開きました。すべての Fujitsu 管理パックを一元化構造に適合させるには、SCOM GUI 内および管理パックスイート内の両方で、古い Windows 管理パックのクラス名とオブジェクト名を変更する必要がありました。

残念ながらこの場合、固有の上書き管理パックや前のバージョンのスクリプトを持つお客様には多少の作業が必要です。付録 B に、古いクラス名およびオブジェクト名と新しい名前との対応を示します。付録を参照して、古い上書き管理パックやスクリプトを適合させてください。

一般的に、次の作業で大部分の必要な変更に対応できます。

（エクスポートした）上書き管理パックまたはスクリプトで以下の作業を行います。

- 「Fujitsu.Servers.PRIMERGY.」を「Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.」に置き換えます。
- 「Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.」を「Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.」に置き換えます。
- Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.Components. がどこにもないことを確認します。あった場合は、Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.に変更します。
- 上書き管理パックに、*Fujitsu.ServerView.Library* および *Fujitsu.Servers.PRIMERGY* 管理パックの両方を参照管理パックとして追加します。これらの管理パックに定義されるクラスについて 付録 B を参照し、それらのクラスにエイリアス名を追加します。

これらの作業により、カスタム上書き管理パックまたはスクリプト内の大部分のクラスを新しい名前に移行できます。残りの問題については、SCOM または PowerShell がスローするメッセージを参照してください。

5.6 トラブルシューティング

5.6.1 ServerView System Monitor を使用して PRIMERGY サーバを調べる

PRIMERGY サーバに問題の兆候がみられ（PRIMERGY Overall State が悪いなど）るときにこの問題の原因を SCOM で特定できない場合は、System Monitor を使用して詳細に調べることができます。

サーバをハイライトして、ServerView System Monitor タスクを使用して System Monitor を起動します。

i Web ベースの System Monitor は、ServerView エージェント V7.01 以降がインストールされている PRIMERGY サーバでのみ使用できます。

古いバージョンの ServerView エージェントを搭載した PRIMERGY の場合は、サーバにログオン（Remote Desktop タスクなどを使用）し、「スタート」－「すべてのプログラム」－「Fujitsu」－「ServerView Suite」－「Agents」－「System Monitor」でサーバ上の System Monitor に移動します。

5.6.2 コントローラドライバのイベントログがありません

全てのコントローラデバイスがデフォルトで Windows イベントログにイベントを作成するわけではありません。イベントログを有効にするための詳細については、コントローラドライバのマニュアルか readme ファイルを参照してください。

5.6.3 Internet Explorer にJavaプラグインがありません

Internet Explorer のインストールパスは、システム環境変数 "IEXPLORERPath" に保存されます。

この値が Java プラグインのない MSIE を参照している場合、環境変数を Java プラグインがインストールされている IE のアドレスに変更します。

5.6.4 Windows インストーラーのログ記録の有効/無効 (デバッグ用)

インストール手順に問題がある場合は、ロギングの有効化と無効化の方法が記載されている以下の Microsoft 技術情報（http://support.microsoft.com/kb/223300）を参照してください。

5.7 制限事項 ― 既知問題

-

6. 付録 B

6.1　V8.0 のクラス名と以前の名前

V8.0 の名前	V8.0 管理パック	以前の名前
Fujitsu.ServerView.AllInstanceGroup	Fujitsu.ServerView.Library	-
Fujitsu.ServerView.Group	Fujitsu.ServerView.Library	Fujitsu.Servers.Group
Fujitsu.ServerView.ServersGroup	Fujitsu.ServerView.Library	Fujitsu.Servers.ServersGroup
Fujitsu.ServerView.System	Fujitsu.ServerView.Library	-
Fujitsu.ServerView.Server	Fujitsu.ServerView.Library	Fujitsu.Servers.Server
Fujitsu.ServerView.LogicalHardware	Fujitsu.ServerView.Library	Fujitsu.Servers.LogicalHardware
Fujitsu.ServerView.HealthCollection	Fujitsu.ServerView.Library	-
Fujitsu.ServerView.ManagementSoftware	Fujitsu.ServerView.Library	Fujitsu.Servers.ManagementSoftware

V8.0 の名前	8.0 管理パック	以前の名前
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.WindowsSeed	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.WindowsSeed	-

V8.0 の名前	8.0 管理パック	以前の名前
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.ServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.ServersGroup
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.BXServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.BXServersGroup
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.CXServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.CXServersGroup
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.MXServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.MXServersGroup
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RXServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.RXServersGroup

Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.SXServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	-
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.TXServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.TXServersGroup
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.XXServersGroup	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.XXServersGroup
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.Server	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Server
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.BXServer	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.BXServer
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.CXServer	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.CXServer
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.MXServer	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.MXServer
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RXServer	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.RXServer

Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.SXServer	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	-
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.TXServer	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.TXServer
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.XXServer	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.XXServer
<removed>	-	Fujitsu.Servers.HealthCollection
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.HealthCollection	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.HealthCollection
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Processors
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Memory
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Fans
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.TemperatureSensors
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Voltages
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.ServerNetworks

<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.ServerStorage
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.ManagementController
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.PowerSupplies
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.PowerConsumption
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.RaidSubsystem
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.RaidLogicalDrive
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.RaidPhysicalDisk
<removed>	-	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.PYOverallState
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.Processors	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.Processors
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.Memory	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.Memory
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.Fans	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.Fans

Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.TemperatureSensors	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.TemperatureSensors
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.VoltageSensors	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.Voltages
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.ServerNetworks	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.ServerNetworks
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.ServerStorage	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.ServerStorage
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.ManagementController	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.ManagementController
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.PowerSupplies	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.PowerSupplies
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.PowerConsumption	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.PowerConsumptionPower
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RaidSubsystem	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.RaidSubsystem
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RaidLo	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.W	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.Rai

gicalDrives	indows	dLogicalDrive
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RaidPhysicalDisks	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.RaidPhysicalDisk
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.PYOverallState	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Components.PYOverallState
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.ManagementClientSoftware	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.ManagementClientSoftware
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.WMIManagemen	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.WMIManagement
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.RaidManagement	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.RaidManagement
Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows.SCCIManagement	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.Windows	Fujitsu.Servers.PRIMERGY.SCCIManagement